





そしてその体内で更なる
繁殖を始めようとしていた

クスグムリの
つがいは
ティアラの体を
住みよい巢に
するため
細胞から作り変えた



便宜上ティアラは
通常通りの姿で
お見せする

ここから
出して……
怖い……



うっ……

ムズッ



このような
歪な格好で巻貝に
詰め込まれている

今ティアラの細胞は
軟体生物のそれと
同じであるため

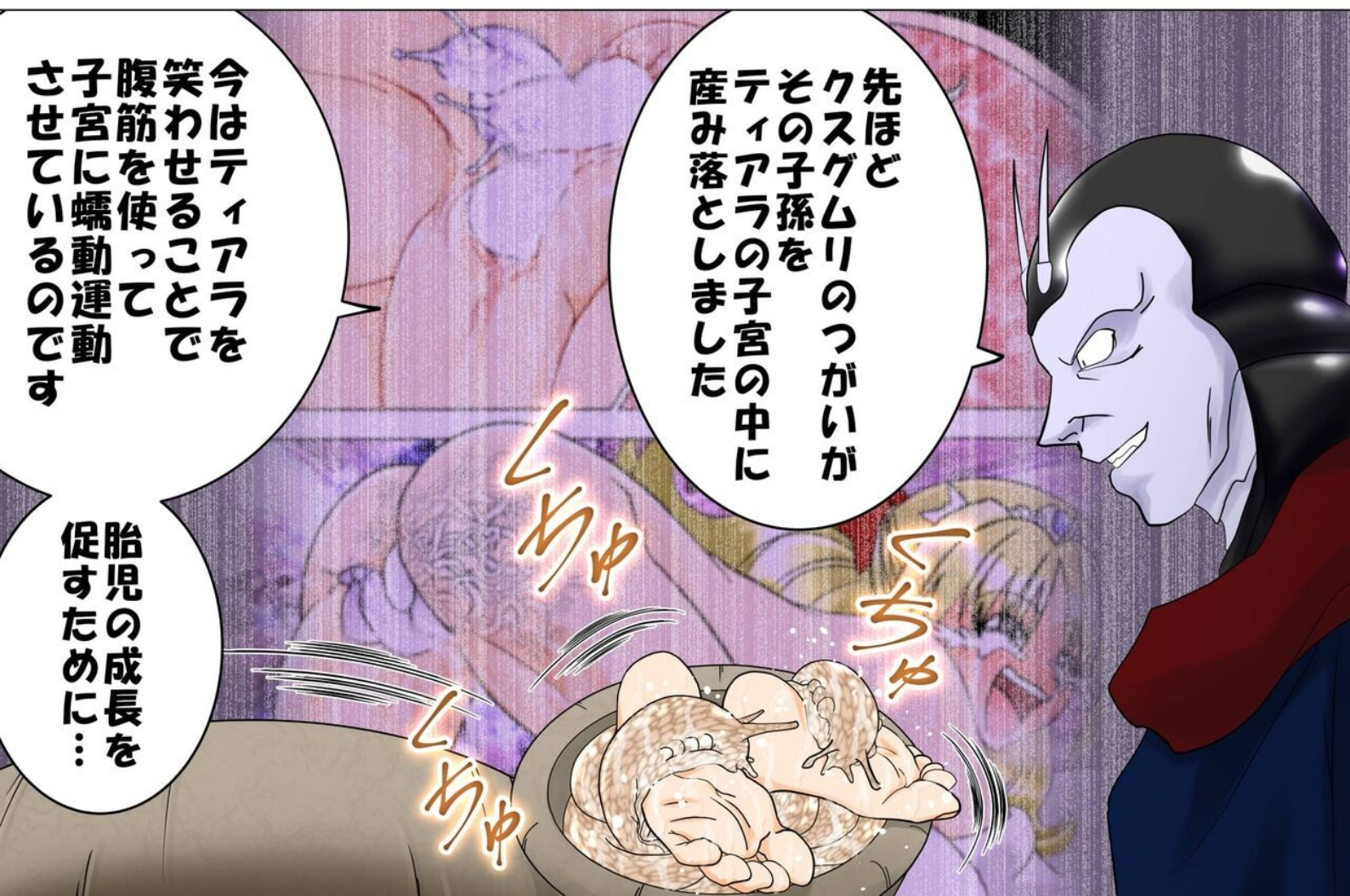
これは
何をしてある？



今はティアラを
笑わせることで
腹筋を使って
子宮に蠕動運動
させているのです

胎児の成長を
促すために…

先ほど
クスグムリのつがい
その子孫を
ティアラの子宮の中に
産み落としました





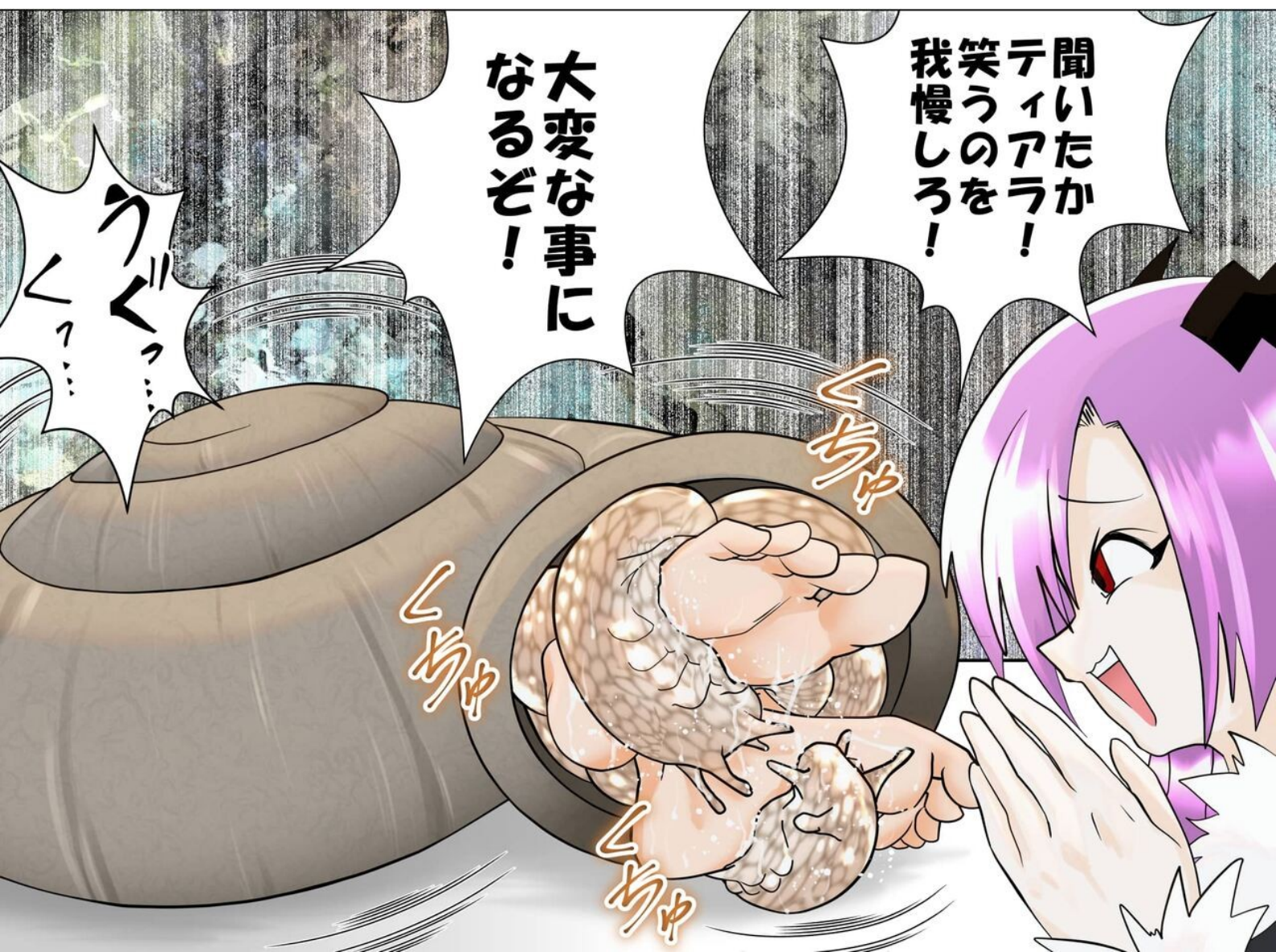
しかも…
より元気な子がね…



ええっ!?

じゃあ
ティアラが
笑えば笑うほど…

悪魔の申し子達が
早く生まれてきて
しまうのね!



聞いたか
ティアラ!
笑うのを!
我慢しろ!

大変な事
になるぞ!

くくく…

くちゅ

くちゅ

くちゅ

言われずとも
ディアラは
直感的に気付いていた



うっ
くく

笑ってしまえば
何か恐ろしい結末を
迎えてしまうのだと



く
ひい
ふ

「この虫たちは
私を笑わせて
何か邪なことを
企てている」



く
ちゅ

ふ
ちゅ

く
ちゅ

ちゅ
ぽ

その危険信号が
足の裏からピンピンに
伝わってくるのだ

だが脳がその信号を
受け取れば受け取る程
溢れてくる



ハ
ヒ

ハ
ヒ

笑いたいという
謎の衝動が



ハ
ヒ

しかし相手も
くすぐいのフ口

人間のどこを
どのようにつれ
くすぐったがるかを
熟知している

土踏まずを
鋭い爪と歯で
掻きむしられ
ティアラの防波堤は
あっけなく決壊した

王家の驕として
どんな時でも
大声で笑うことを
禁じられて育った
ティアラ

その品格に満ちた
微笑みが
全ての国民たちに
癒しを与えていた



だが
フリンセスの品格も
くすぐりによって
いとも簡単に
打ち砕かれた

ティアラは
細胞軟体化に伴って
神経にも
変化が起きていた

痛覚や触覚など
あらゆる感覚が
擦感――

つまり
くすぐったさのみに
変換されて
しまう体にな
ってしまった



本来痛みを
伴うほどの
クスグムリの
鋭い爪を
立てられても
猛烈にく
くすぐったく



もはやティアラは
ただくすぐったさに
苦しむためだけに
生きてゆく怪物へと
成り果ててしまった



おまけに
ティアラは
グリエラによつて
神経を改造
されてあり



くすぐったさが
30倍の強さで
脳に届く



そんな彼女が
笑うのを
我慢することなど
できる筈もなく

腹筋が子宮を
練り動かし
新たな生命の
成長が促された

アハハハッ
おなかの中が
ぐずぐずしたい!!

何これ?!

世界広しと言えど
陣痛をくすぐったがる
奇妙な生物など
このティアラを
おいて他にいま



産道の肉壁を
赤子が
自らの意思で
掻き分けながら
通過する

猛烈にくすぐったい
出産だった

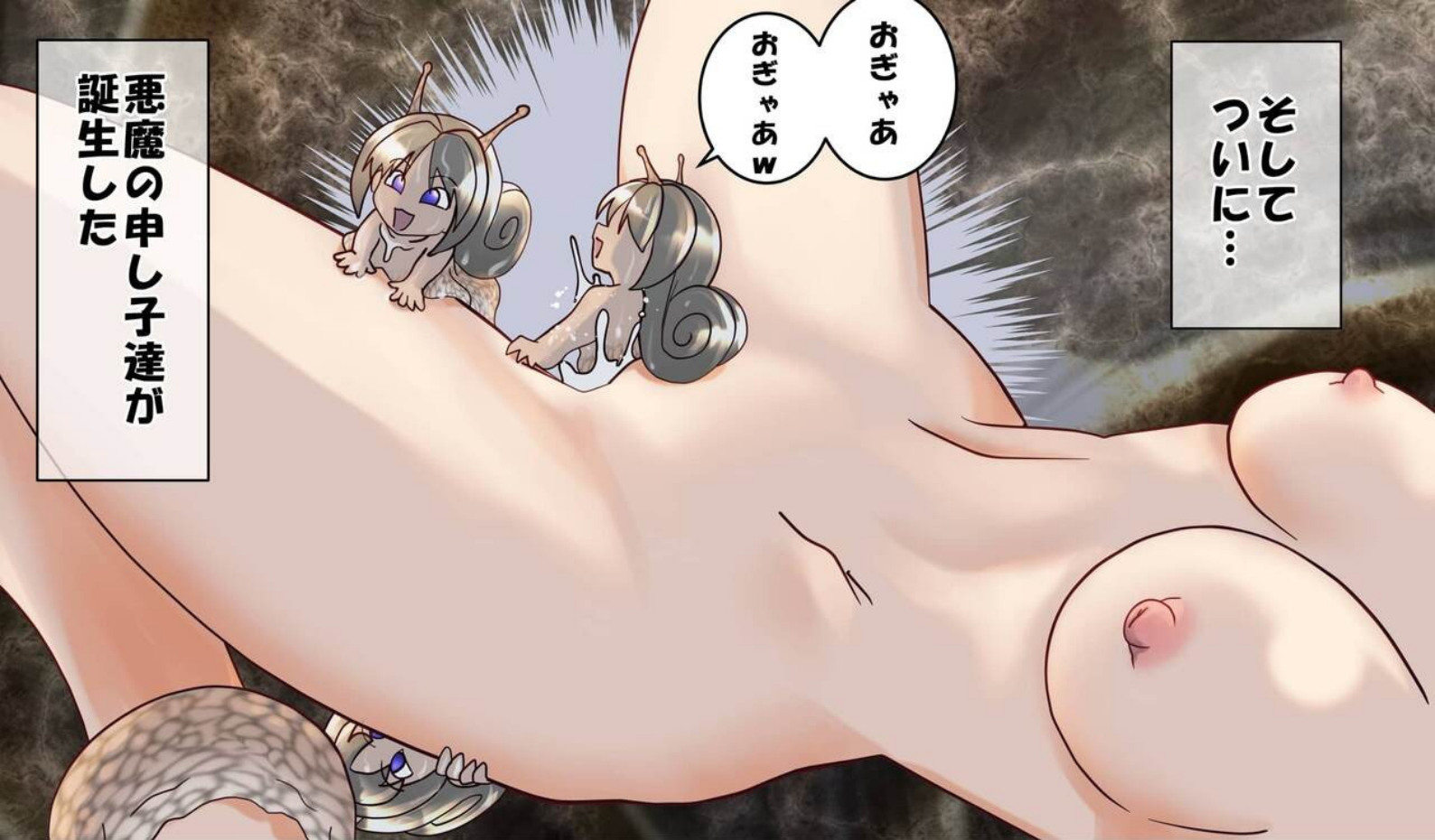
両足を開き
腹に力が入る
出産を知らぬ少女が
自然と女の性に
従った感動の瞬間

そして…
ついに…

おぎゃあ

おぎゃあw

悪魔の申し子達が
誕生した



な、何これ…
どうして
私に
おっきい
なの…!?

かわいい娘たちよ
私の声が
聞こえますか?



あなた達は
そこに
マザーティアラの
遺伝子を受け継いだ
クスメラです。



母を
困らせるのも
子供たちの
務め

思いっきり
くすぐって
あげなさい



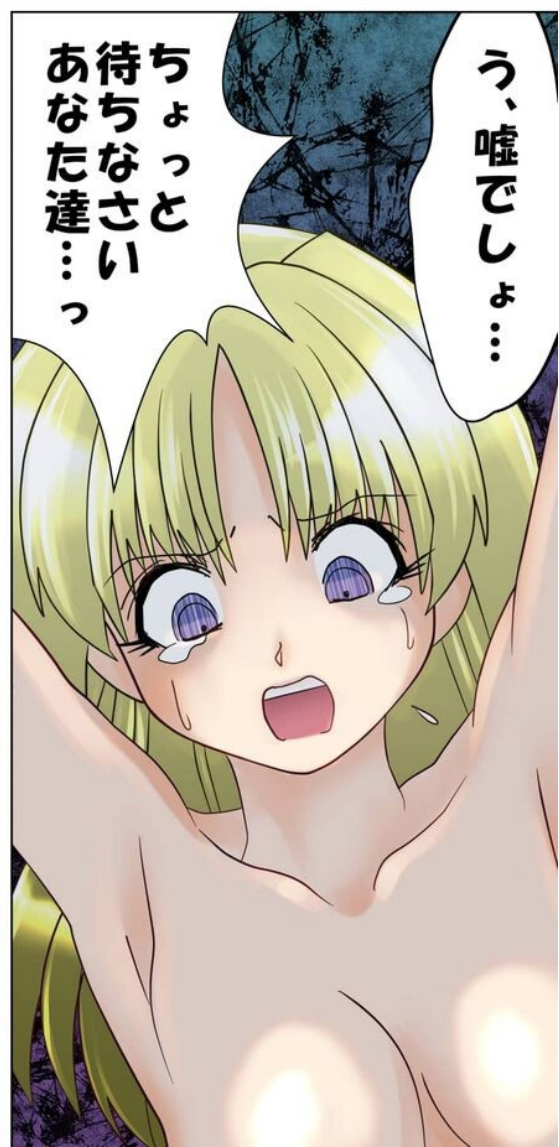
う、嘘でしょ…

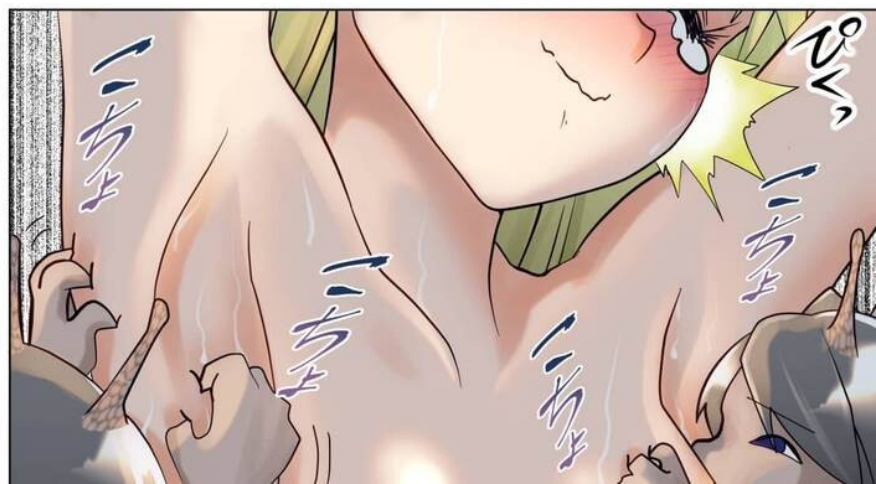
ちょっと
待ちなさい
あなた達…っ

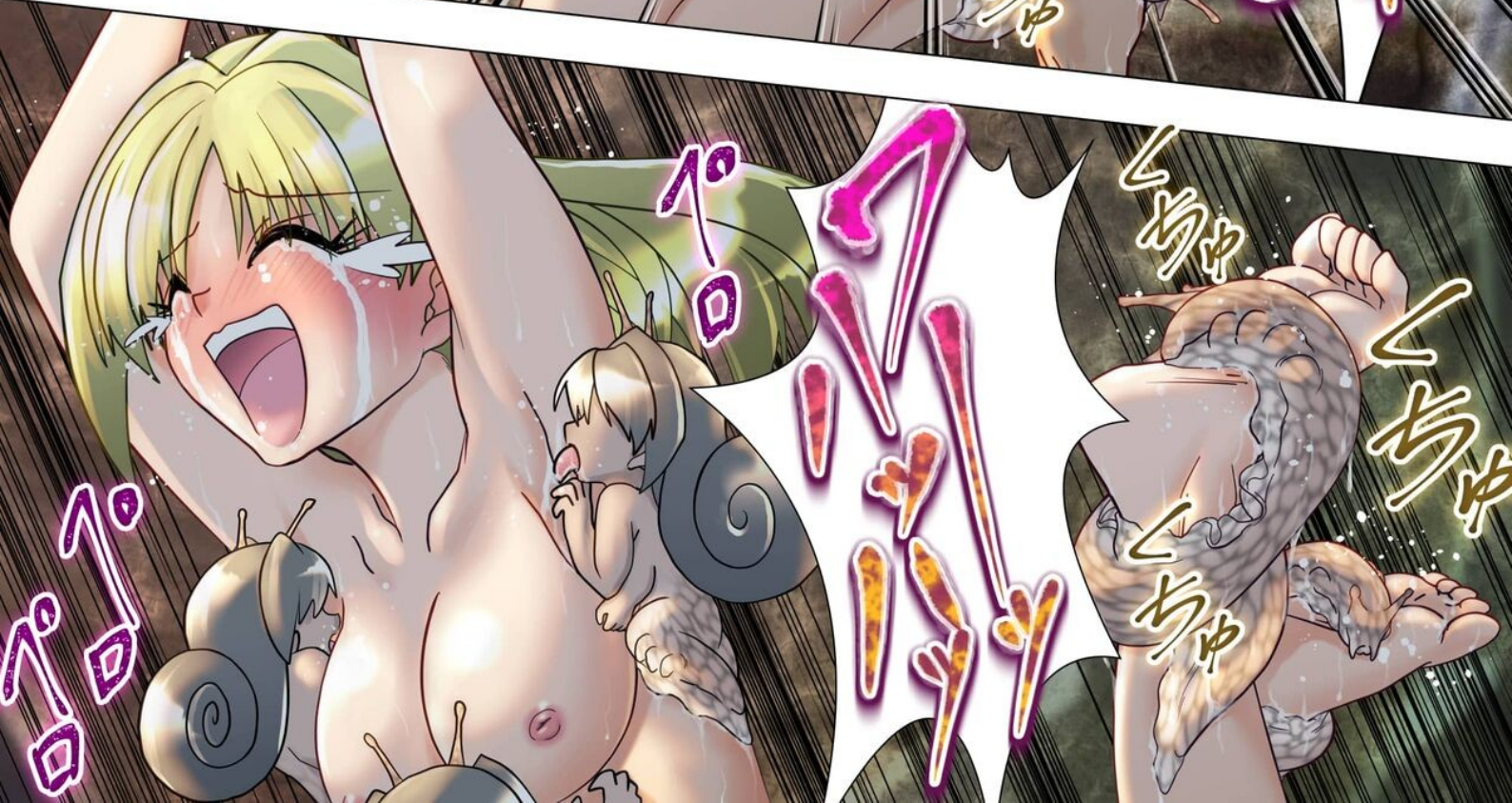
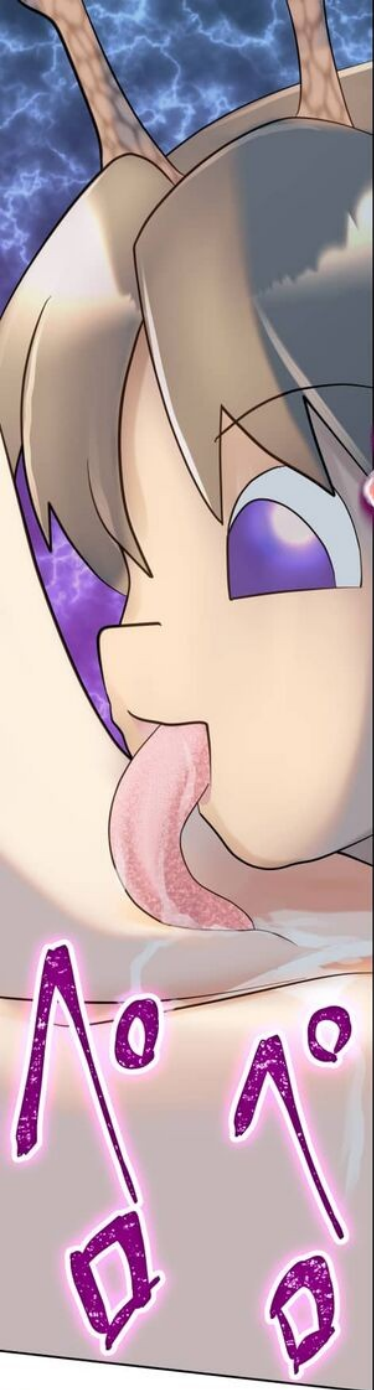
まずは
腋を目指し
コチョコショリンを
たっぷり含んだ
汗を舐めなさい

あっ…
よじ登らないでっ
あははっ

腋は人間の汗が一番
吹き出る場所です





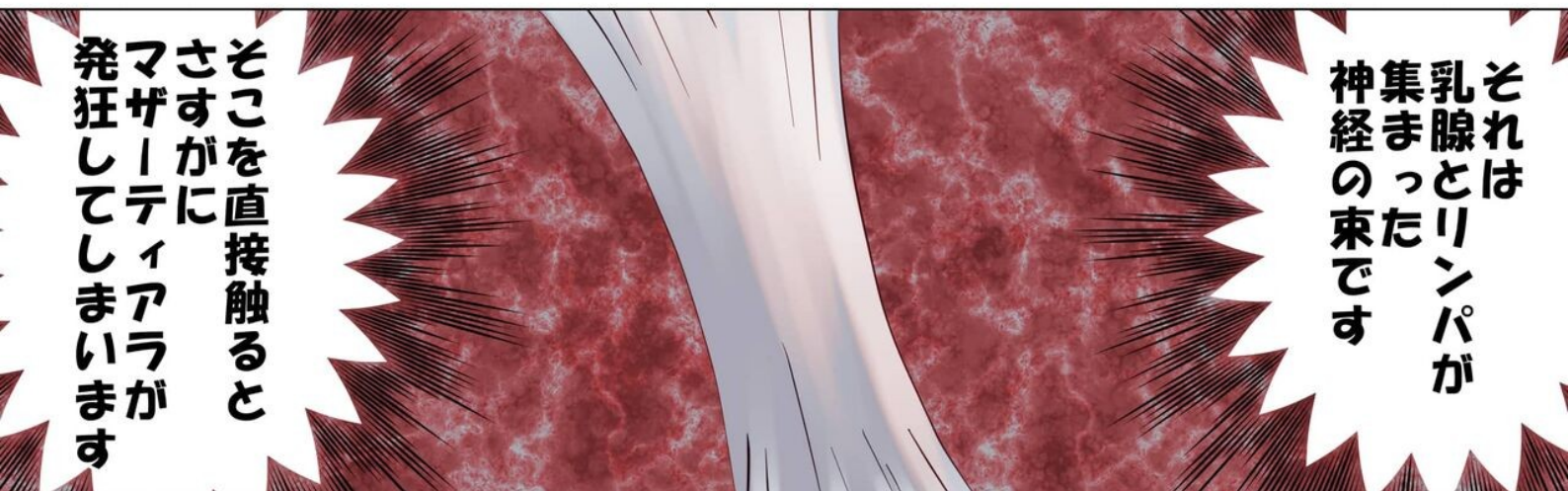




あ、そこは
いけません

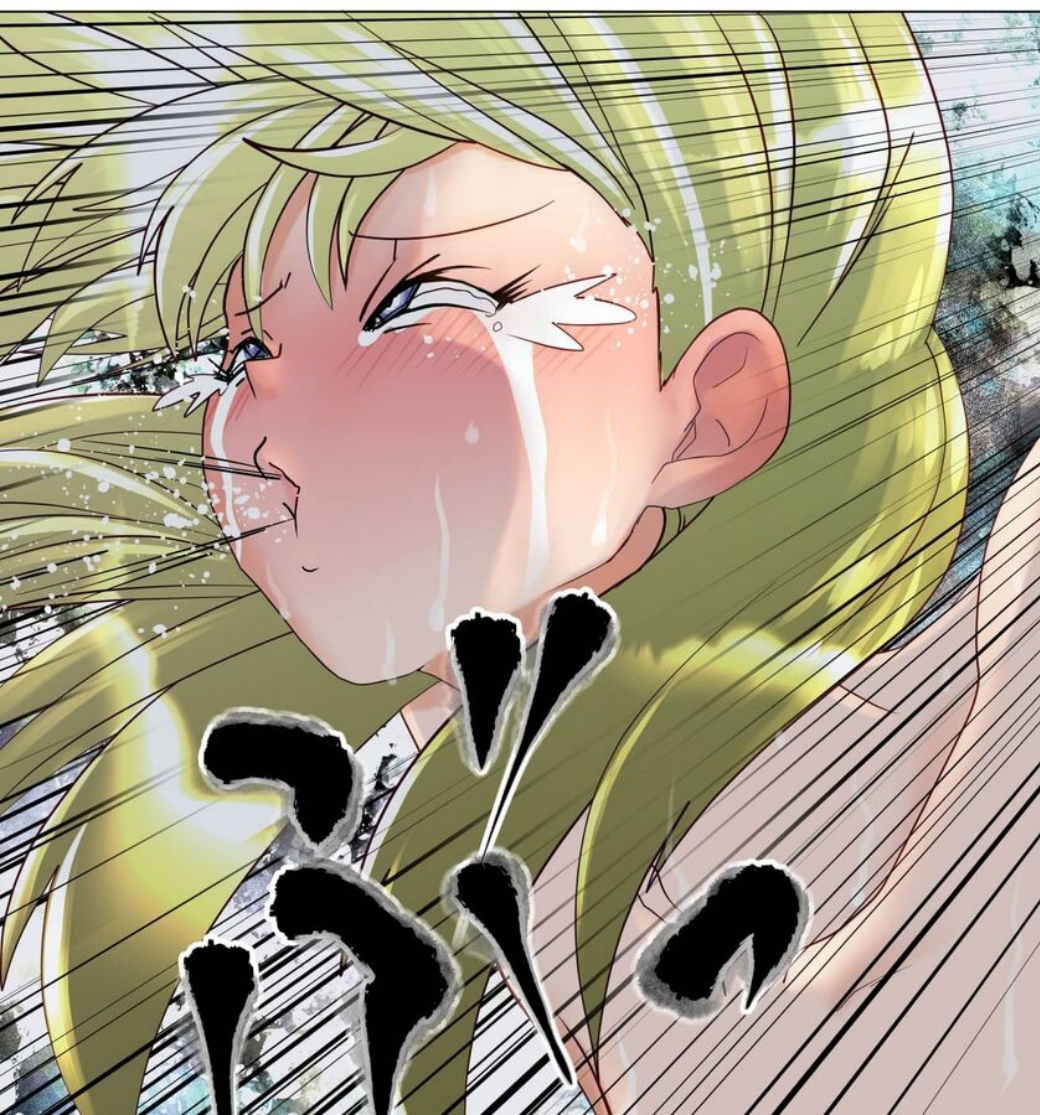


ん？
腋の下に
何かある



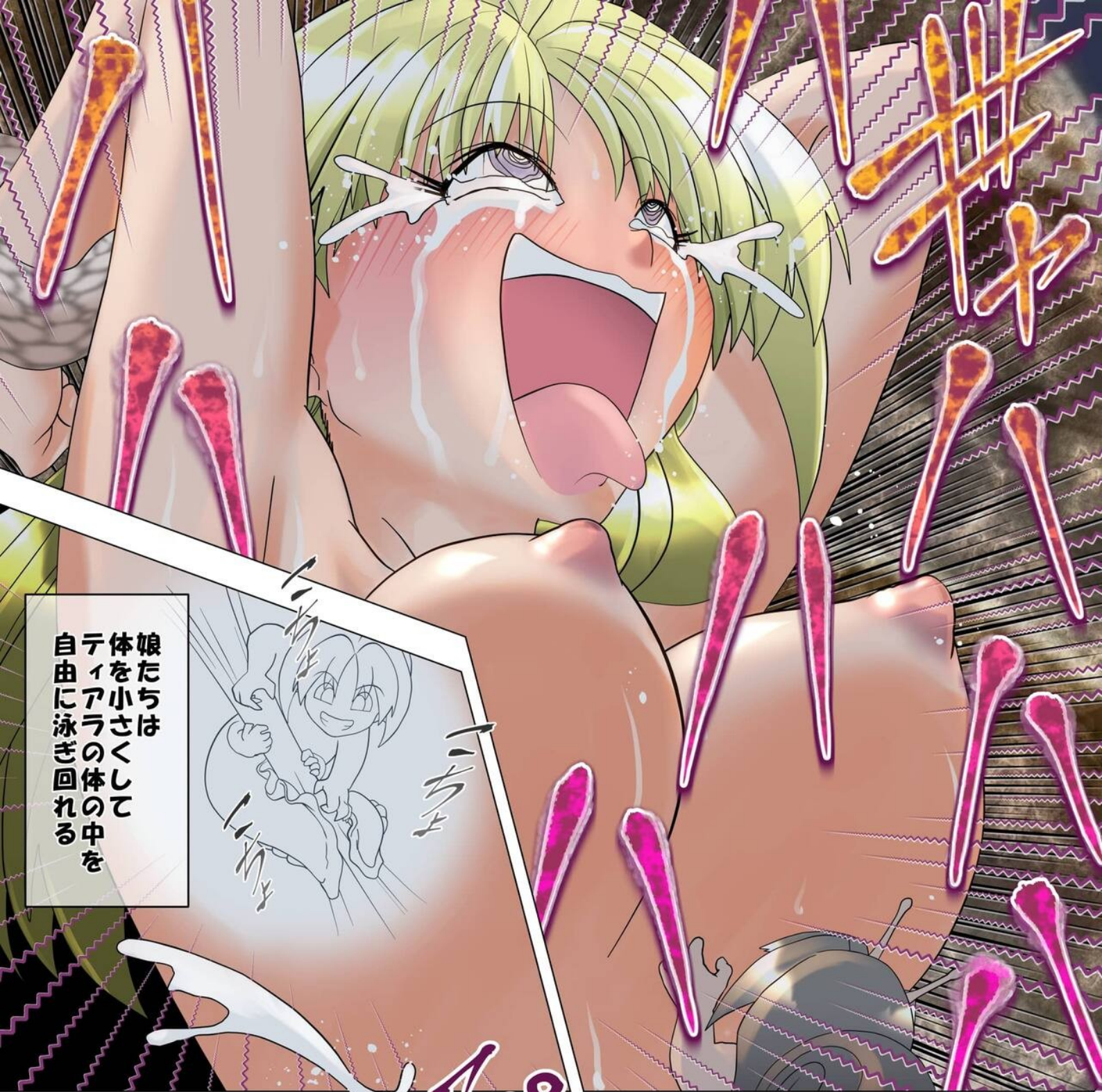
それは
乳腺とリンパが
集まった
神経の束です

そこを直接触ると
さすがに
マザーティアラが
発狂してしまいます



ごうっ

びょん♪



娘たちは
体を小さくして
ティアラの体の中を
自由に泳ぎ回れる

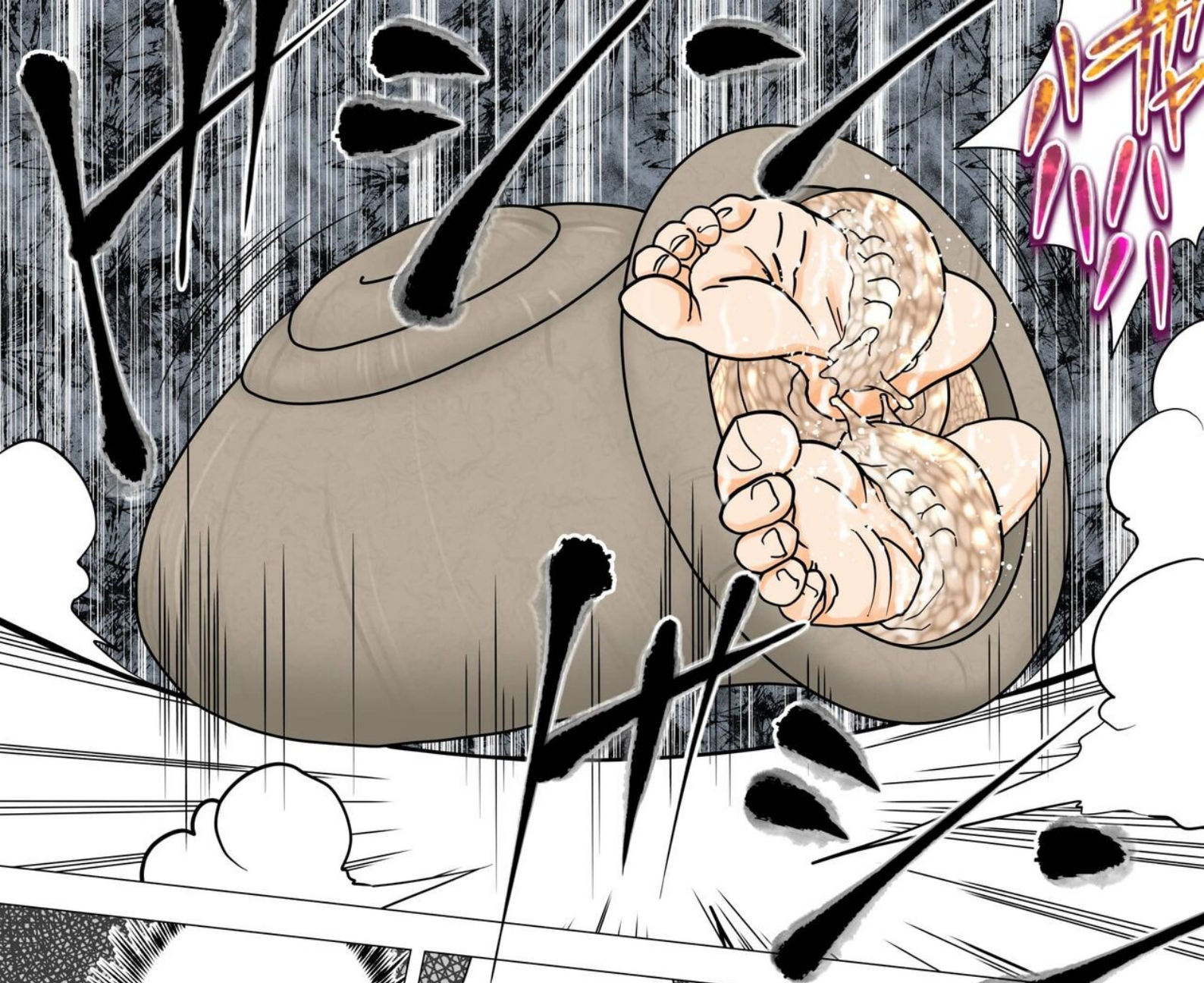


なんか
出た!





この地獄の授乳は
数時間に及び
ティアラは
人が一生で出す量を
遥かに超える母乳を
強制分泌させられた



おお…っ

美しかった
ティアラが
こんな醜い
怪物になっ
てしまっ
たなんて…

そう
これは
ティアラに
恐怖と絶望を
与える為の演出

ふふ…
グリエラ様も
演技が上手で…

元の体に戻る方法もあるし
グリエラ様の
許可を得てやっていること



グリエラ様でさえ
狼狽するこの事態。
恐くて仕方あるまい

あくまで
自分に降りかかる
災いはくすぐりだけ
だと思っていた
だろうに、

バケモノに
なりつつある
自分の運命に
恐怖しろ



それでもなお
お前は
バカのように
笑い続けるのだ

なんだから景色がどんどん暗くなってる？

マザーティアラの心境が反映されているのです

ぽゅ

マザーティアラの
心境が反映されて
いるのです

ぽゅ

なんだか
景色が
どんどん
暗くなってる？

こんなに笑っていても
 マザーティアラは今
 恐怖でいっぱい
 なのです

あ、かわいい！
何これ？

あっ：
それは：

どこを
触ったら
喜ぶのかなあ

もっと
くまなく
探検して
みよう♪

あ、かわいい！
何これ？

あっ：
それは：

どこを
触ったら
喜ぶのかなあ

もっと
くまなく
探検して
みよう♪

あ、かわいい！
何これ？

あっ…
それは…

どこを
触ったら
喜ぶのかなあ

もっと
くまなく
探検して
みよう♪

あ、かわいい！
何これ？

あっ…
それは…

どこを
触ったら
喜ぶのかなあ

もっと
くまなく
探検して
みよう♪



なんだか
ますます
暗く
なってきたね

お願い!!
私から未来を
奪わないで!!





すっごく美味しい
密が溢れてきた

それは膣液

コチョコレナリンの
濃度が
最も高い体液です

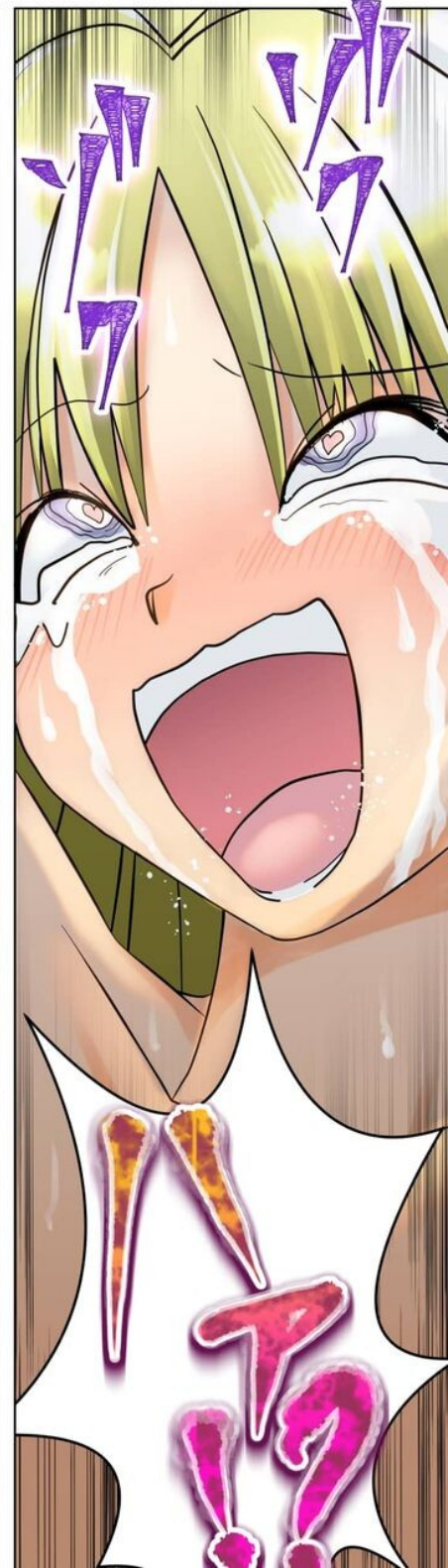
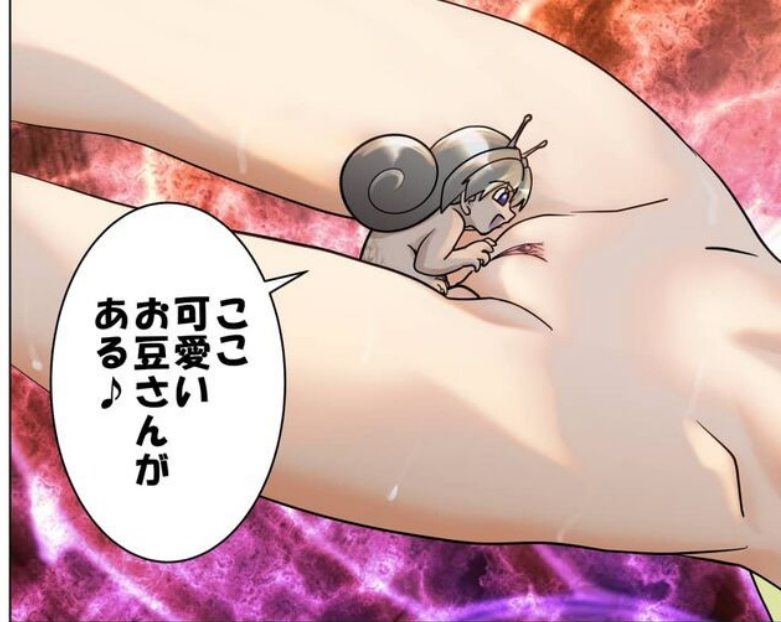


後ろの穴を
こちょこちょ
すると

前の穴から
いっぱい
溢れてくる♪

私達が
最初に通った
小さな穴も
敏感だよ♪

すっごく
やもって





へへへ
なめ
へへへ

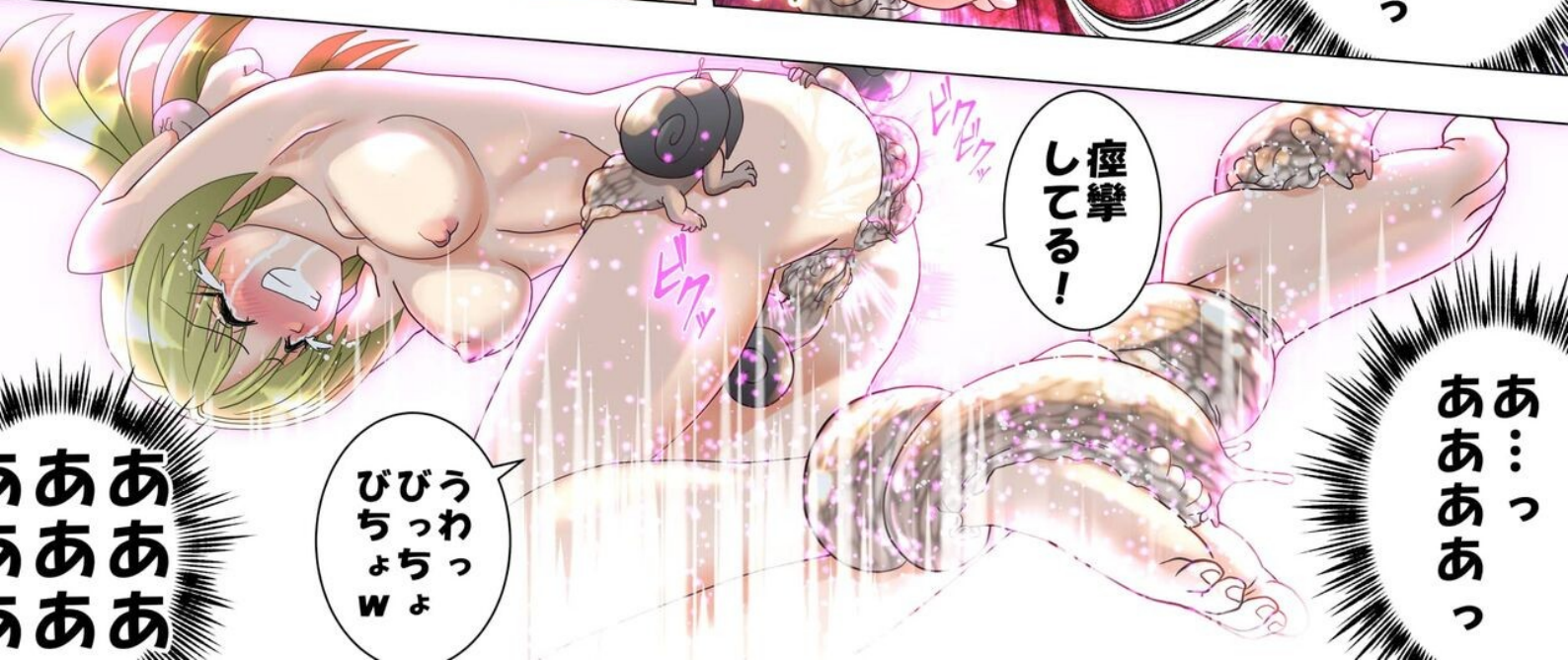


んあひ
はんあ

だめっ…

もう…限界っ

このままじゃ…
子供に
イカされちゃうっ



痙攣
してる！

あ…っ
あああっ

びびう
ちっわっ
ちょっ
wよ

あああ
あああ
あああ

